

第156期 中間報告書

2016年4月1日～2016年9月30日



OAK
CAPITAL

Oak キャピタル株式会社

Top Message

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素より温かいご支援と格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期(2016年4月1日～2016年9月30日)における欧米株式市場は、米国大統領選挙の動向及び連邦準備制度理事会(FRB)による利上げの有無、ドイツ大手銀行の信用懸念などの影響を受け、乱高下する展開となりました。

企業業績の回復確度の高まりや経済指標の改善が見られる一方で、英国のEU離脱決定をはじめとする今後の欧州情勢への懸念などにより、世界経済の先行きに不透明感が残っております。

一方、国内株式市場は、為替相場も急激な円高にブレーキがかかり、輸出企業を中心に業績拡大への追い風となるだけでなく、改めて日本企業の業績の底堅さが評価されるなど、緩やかな上昇基調に転じるものと思われま

す。当社は引き続き、企業の成長戦略及び再生戦略を担う投資銀行として、新興株式市場を中心に中小型株企業に向けた財務支援や成長支援となる事業創出の後押しなど、企業価値向上に向けた様々な支援を通じ、社会的責任を果たしてまいります。

また、成長し続ける投資銀行を目指し、収益構造のイノベーションを進め、安定した収益を生む事業投資分野を強化してまいります。当社はバランスのとれた収益構造の改革及び確立により成長力・収益力・安定力を強固にし、「企業価値」と「株主価値」をさらに高めてまいります。

今後とも皆様方の一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2016年12月

代表取締役会長 兼 CEO 竹井博康

事業ハイライト

業績サマリー

当期(2016年4月1日から2016年9月30日まで)の個別業績は、売上高45億84百万円、営業利益5億18百万円、経常利益3億64百万円、四半期純利益5億2百万円となりました。連結業績は、売上高45億84百万円、営業利益5億18百万円、経常利益3億51百万円、親会社株主に帰属した四半期純利益4億90百万円となりました。

当社は、新興株式市場に上場する企業及び中小型株企業に向けた成長戦略及び資本政策の支援に取り組んでおります。当第2四半期間におきましては、上場企業2社に対し、事業再生に伴う財務面の強化並びに成長戦略に伴うM&A資金の支援で、総額28億円のエクイティファイナンス引受けを実施いたしました。

当期間の投資回収につきましては、再生支援投資分野で投資先企業の再生実績が株式市場で評価され、株価上昇に伴い保有株式の一部売却を実施した結果、キャピタルゲインは9億97百万円、投資収益率は27.9%となりました。

成長戦略

当社は、持続的な成長を実現するため、投資銀行事業に加え、安定的な収益を生む事業を構築してまいります。当社は「企業価値」と「株主価値」をさらに高め、バランスのとれた収益構造を構築し、進化する投資銀行を目指してまいります。

株主還元

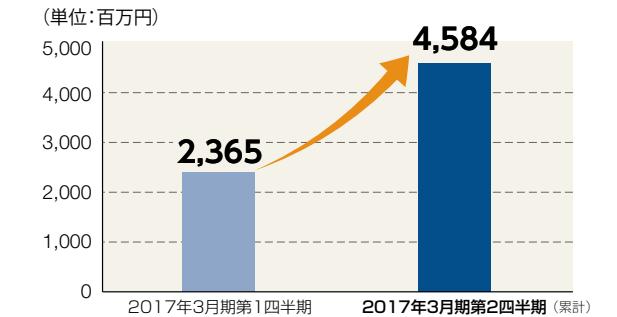
さらなる業績拡大を図るとともに、企業価値ならびに株主価値向上に努めてまいります。なお、継続的、且つ、配当性向30%を目指し、株主優待を含め株主還元の充実に取り組んでまいります。

IR活動

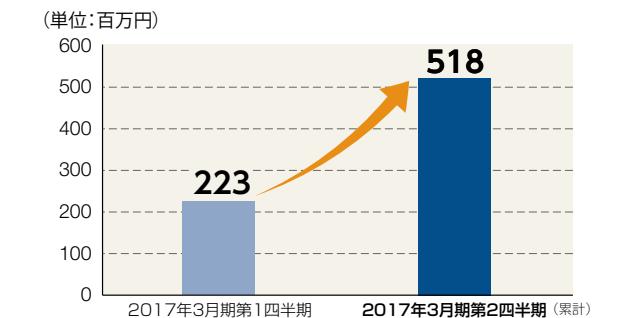
当社事業や投資に対する興味や関心を持っていただくため、機関投資家向けの活動に加え、東京証券取引所や各メディア、証券会社主催のIRイベントへ積極的に参加出展し、個人投資家との対話の機会創出を図ってまいります。

※P10「IRイベントのご報告」をご覧ください。

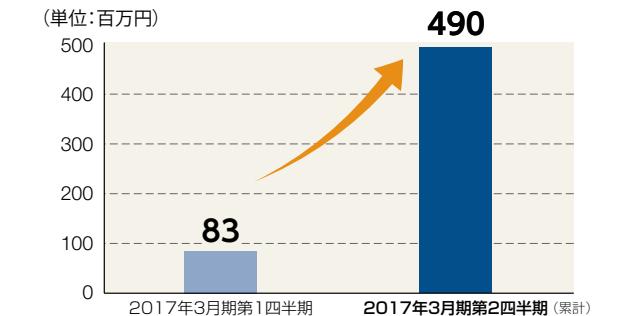
■ 連結売上高



■ 連結営業利益



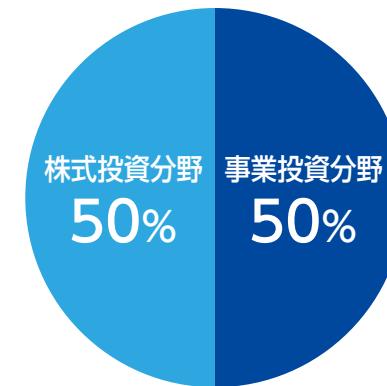
■ 連結四半期純利益



Oakキャピタルの経営戦略

- 投資の多角化により潜在成長力を高める
- 収益構造の改革により、成長力・収益力・安定力を強固にし、株主価値を高める

投資銀行業務は **株式投資** と **事業投資** の2本柱



1 株式投資分野で高収益

- エクイティファイナンス投資
- 再生投資
- 事業支援投資

運用利回りを追求
キャピタルゲイン収益の増大

2 事業投資分野で安定収益

- 経営参加型事業投資
- 事業会社を傘下
- ブランド投資を強化

資産運用を追求
安定収益と株主価値向上

支援投資企業のご紹介 (2016年1月~9月)



東証JQG 2321

ファイナンス引受総額 **15**億円

[コミュニケーション・プラットフォームの提供|「ネットとリアル」の融合]の2つの事業推進に向けた再生支援投資

■ 会社概要 (平成28年10月1日現在)

代表者：代表取締役社長 阪口 克彦
設立：1997年(平成9年)4月
従業員数：164名
資本金：39億56百万円
URL：http://www.softfront.co.jp/

■ 事業内容

IT事業者向け「コミュニケーション・プラットフォーム」事業と「ネットとリアル」の融合による価値創出事業

2016年4月： はがき・住所録ソフト「筆まめ」を提供する筆まめ社を買収
7月： ソースネクスト社と業務提携「筆まめ」と「筆王」の2大ブランドでマーケットシェア80%規模の協業効果



元祖・年賀状・はがきソフト
17年連続販売本数第1位



パソコンソフト販売本数シェアでは、ビジネスおよびユーティリティソフト **6分野にてシェアNo.1を獲得**



東証2部 6731

ファイナンス引受総額 **20**億円

AI(人工知能)を活かしたIoT・自動翻訳・AR/VRの融合事業創出に向けた成長支援投資

■ 会社概要 (平成28年6月30日現在)

代表者：代表取締役社長 藤岡 浩
設立：1982年(昭和57年)6月
従業員数：108名
資本金：18億53百万円
URL：http://www.pixela.co.jp/

■ 事業内容

AV関連事業、IoT関連事業、自動多言語翻訳システム事業、AR/VR事業



Topics 01

株式会社電通と上場企業の成長戦略支援における業務提携を締結

当社は、2001年の投資銀行業参入以来、数多くの上場企業の成長支援に携わってまいりました。当社の投資銀行業務は財務支援を柱として、事業の成長戦略に必要な事業投資資金やM&A資金をサポートすることで、企業価値向上に向けた成長戦略を支援することを使命として実施してまいりました。

この度の電通との業務提携により、上場企業向け成長戦略支援分野において、より幅広い領域で事業戦略の支援と推進を図れることになり、電通グループが持つ複合的な事業戦略の開発力により上場企業の成長シナリオ推進の後押しになると判断いたしました。

■ 企業のバリューアップ支援体制



- 1.金融・財務に関する幅広い知識と経験
- 2.エクイティファイナンスの引受け(1社/5億円~15億円)
- 3.新規事業の創出、M&A支援および企業価値、株主価値の拡大に向けた総合支援

サポート

成長シナリオの提案

既存事業の成長戦略

新規事業の創出

提携による事業拡大

M&Aによる事業拡大

IR/PR戦略

dentsu

- 1.マーケティングコミュニケーション領域(マーケティング戦略・調査・コンサルティング・メディアバイイング)
- 2.パブリックコミュニケーション領域(PR・イベント)
- 3.ビジネスインキュベーション領域(ビジネスマッチング・事業開発)

日本経済の再生・成長

Oakキャピタル

財務支援

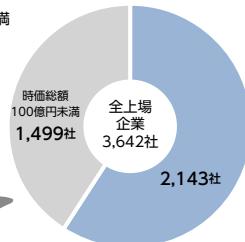
上場企業の成長と再生は株式市場のボトムアップ

電通グループ

成長戦略支援

日本経済の底辺を担う中・小規模の企業成長・企業再生

協業



※2016.9.30現在

Topics 02

クリストフル青山本店 リニューアルブランドオープン

旗艦店である青山本店のリニューアルにより、これまでのカトラリーを中心とした商品に加え、個々のライフスタイルに合わせた様々な商品やアイテムなど、幅広いラインナップのご紹介が可能となります。今後は、各種イベントや新商品のご案内などを通じ、これまでご愛用いただいたお客様は元より、初めてクリストフルに触れていただく方々にも新鮮で、かつ、魅力あるクリストフルの世界観をご体験いただける場として、更なるブランド認知度向上並びにブランド価値向上を図ってまいります。

今後は伝統を継承しつつブランドロイヤルティを高め、時代やトレンドにマッチした商品や新カテゴリーにおけるラインナップ充実により新たな市場を醸成し、ブランド価値向上とともに長期安定的な収益を獲得出来るよう努めてまいります。

Christofle

PARIS



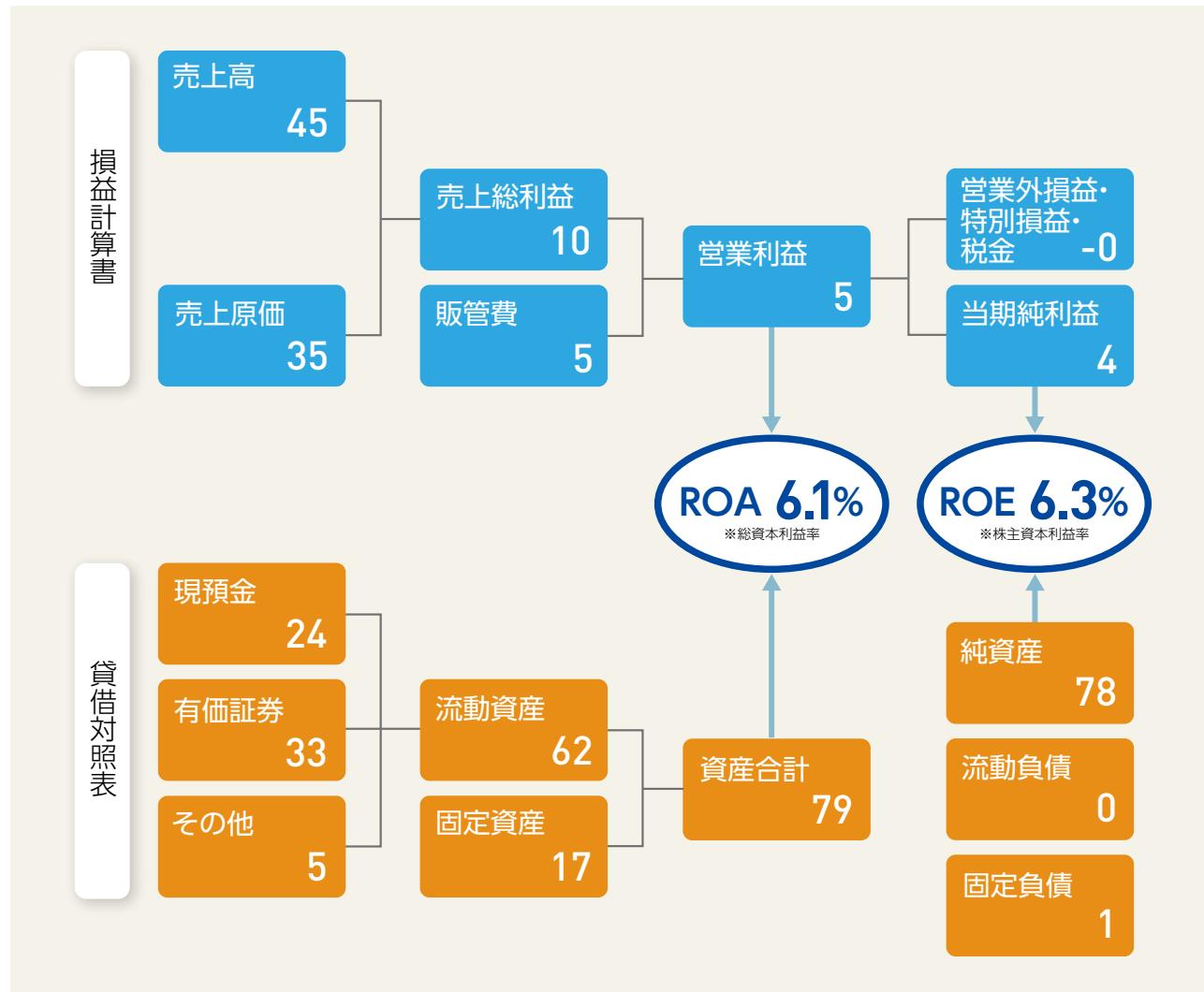
▲テープカットの様様
左からクリストフルジャパン代表取締役社長アレシオ・ジャコメル
クリストフル新アンバサダー滝川クリステルさん、須賀洋介シェフ
※フレンチレストラン[SUGALABO Inc.]代表

【ブティック詳細】

所在地: 〒107-0061
東京都港区北青山3-6-20 青山T&E
営業時間: 11:00-19:30
TEL: 03-3499-5031

財務諸表(要旨)〔連結〕

PLとBSの相関図 (単位:億円)



連結財務諸表(要旨)

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (2016年9月30日)
資産の部	
流動資産	6,191
固定資産	1,769
有形固定資産	62
無形固定資産	3
投資その他の資産	1,703
繰延資産	12
資産合計	7,973
負債の部	
流動負債	58
固定負債	109
負債合計	168
純資産の部	
株主資本	8,345
その他の包括利益累計額	△541
純資産合計	7,804
負債純資産合計	7,973

※第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度末との比較は行っておりません。

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2016年4月1日~ 2016年9月30日)
売上高	4,584
売上総利益	1,007
販売費及び一般管理費	488
営業利益	518
経常利益	351
特別損益(△は損失)	137
税金等調整前四半期純利益	489
法人税等合計	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	490

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2016年4月1日~ 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	994
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△264
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	641
現金及び現金同等物の期首残高	1,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,379

Point

売上総利益=

再生支援投資分野で投資先企業の再生実績が株式市場で評価され、株価上昇に伴い、保有株式の一部を売却いたしました。その結果、売上総利益は10億7百万円、投資収益率は27.9%となりました。

Point

営業活動によるキャッシュ・フロー=

営業投資有価証券の売却等による投資回収の進捗により、税金等調整前四半期純利益を計上したこと等により、9億94百万円のキャッシュインフローとなりました。

会社概要 2016年9月30日現在

■ 会社概要

商号	Oakキャピタル株式会社
創業	1868年
設立	1918年
資本金	42億82百万円
市場	東証第2部 3113(上場 1949年)
主幹事証券	大和証券
会計監査人	監査法人 日本橋事務所
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行

■ 役員

代表取締役 会長 兼 CEO	竹井 博康	
取締役	秋田 勉	管理本部長 兼 経理財務部長
取締役	榎野 冬樹	投資銀行部長
取締役*1	尾関 友保	元アクセンチュア(株) パートナー
取締役*1	宇田 好文	元(株)NTT ドコモ代表取締役副社長
常務執行役員	木戸 康行	投資銀行部
執行役員	磯村 康典	事業投資部
執行役員	小玉 誠一	IR・PR室長
常勤監査役	高橋 英也	
監査役*2	坂井 眞	弁護士
監査役*2	廣瀬 元亮	
監査役*2	上野 園美	弁護士・公認会計士

*1. 会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
*2. 会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況 2016年9月30日現在

発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	53,675,037 株
株主総数	22,841 名

大株主 上位 10名

株主名	所有株式数	持株比率
個人株主	2,274千株	4.24%
エルエムアイ株式会社	2,141	3.99
竹井博康	895	1.67
株式会社SBI証券	664	1.24
日本証券金融株式会社	609	1.14
個人株主	383	0.71
協和青果株式会社	365	0.68
個人株主	360	0.67
個人株主	357	0.67
個人株主	353	0.66

注)持株比率は、自己株式(33,198株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	3月31日及び中間配当金の支払いを行うときは9月30日
株主名簿管理人	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 株式会社アイ・アール ジャパン 電話0120-975-960(通話料無料)

- 住所変更、単元未満株式買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

IRイベントのご報告

PRONEXUS INC.×ラジオNIKKEI共催 「企業IR&個人投資家応援イベント」に協賛

2016年11月12日(土曜日)
TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋(大阪)

- 当日の内容はこちらでお聴きになれます。
ラジオNIKKEI特番専用ページ
<http://market.radionikkei.jp/irevent/>

東証IRフェスタ2017に出展決定

主催:日本取引所グループ/東京証券取引所

2017年2月24日(金曜日)・25日(土曜日)
東京国際フォーラム B2FホールE

2014年、2015年に続き3回目の出展となります。
会場内ブースNo及び会社説明会の日時につきましては、
決定次第コーポレートサイトにのご案内いたします。



ニッポン最大級のIRイベント

東証IRフェスタ2017

~ 10th Anniversary ~

2017年2月24日(金)・25日(土)

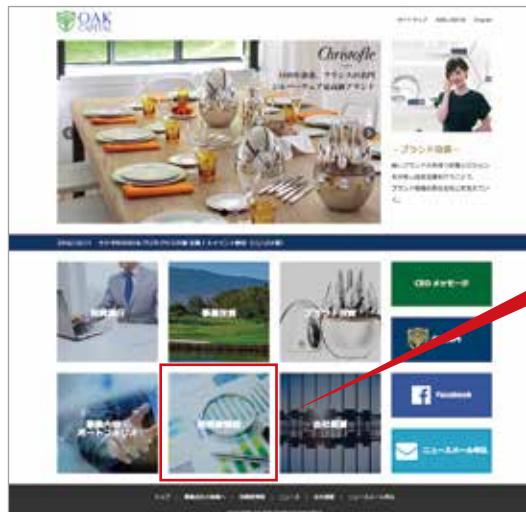
東京国際フォーラム



◀ 2015年
出展時のブース

IRサイト紹介

URL: <http://www.oakcapital.jp/ir/> または で検索してください。



● 投資家情報



Oak キャピタル株式会社 証券コード：3113

<http://www.oakcapital.jp/>

〒107-0052 東京都港区赤坂八丁目10番24号 住友不動産赤坂ビル

本 社 TEL.03-5412-7474 FAX.03-5412-8282

事業本部 TEL.03-5412-7700 FAX.03-5412-8811



Facebook

<https://www.facebook.com/oakcapital.jp>